

救 急 集 中 治 療 科

【実習目標】

一般目標：

- ① 高度救命救急センター/集中治療部・救急外来実習により基本的な救急・重症患者の診療を理解する。
- ② 救急・集中治療・災害医療・緊急被ばく医療の仕組みを理解する。
- ③ 病院外における救急現場の経験を通じて、病院前救護を理解する。
- ④ ドクターヘリシステムの意義を理解する。
- ⑤ チーム医療，医療倫理，医療経済を理解する。

行動目標：

1) 高度救命救急センター/集中治療部・救急外来での実習

- ① 高度救命救急センター/集中治療部・救急外来における救急初期診療の基本を述べる。
- ② 視診・触診・聴診など身体所見に重点を置いた患者評価を行う。
- ③ 救命救急センター/集中治療部入室患者の2週間の身体所見，重症度スコアの変化を把握し治療経過を知るとともに，報告書にまとめる。
- ④ 担当症例について，救急科カンファレンスで症例プレゼンテーションを行う。
- ⑤ 基本的な検査所見を解釈する。
- ⑥ 基本的な救急手技(救急科専門医に必要な手技より選択) および薬剤について，実技や実際の処方を見学し，成書で確認しまとめるとともに，担当教官に指導を仰ぐ。
- ⑦ 担当症例について，診療経過の詳細及び文献等で学習した内容を PPT 形式にまとめる。

2) 二次救命処置・集中治療・外傷救命処置・災害医療・緊急被ばく医療

- ① シミュレータを用いて心肺停止に対する二次救命処置（ALS）を修得する。
- ② 重要な救急疾患（敗血症，急性呼吸不全等）の治療の基本を修得する。
- ③ 集中治療・外傷救命処置の基本を述べる。
- ④ 災害医療・緊急被ばく医療における一般的対応を述べる。

3) 救急車同乗実習

- ① 病院前救護における救急隊員との医療連携を述べる。
- ② 救急車に同乗し，病院前救護を中心とした救急医療の現状を実体験する。

4) ドクターヘリ実習

- ① ドクターヘリの特徴，適応，期待できる効果について述べる.
- ② 広島ヘリポートにおいて，ドクターヘリ，通信室を見学する.

5) 情意領域

- ① 患者やその家族の心情を共有する.
- ② チーム医療，医療倫理，医療経済，終末期医療を学び，医療人としての自覚を育む.

1. 集合場所など

- 1) 実習初日は，午前8時15分に入院棟3階・高度救命救急センター・集中治療部の医師控室2へ集合する
- 2) 実習中は，ヘリポート・救急車実習を除き，病棟を離れない．万が一病棟を離れる場合は，必ずその日の病棟責任者医師の許可を得る
- 3) オリエンテーション終了後，実習における基本的知識のミニテストを実施する

2. 臨床実習

- 1) 高度救命救急センター・集中治療部のカンファレンス（朝 8:20～，夕 16:30～）に参加する
- 2) 高度救命救急センター・集中治療部・救急外来の新規救急患者の初期診療に立ち会う
- 3) 毎日必ず自分で担当患者の身体所見をとる（カルテ等を写さない）．結果を所定用紙に記載する
- 4) 身体所見をとる際は，担当医あるいは病棟責任者医師の許可を得る．
- 5) 身体所見をとる場合は，標準予防策を適用し，患者および家族への声かけや礼儀に注意する
- 6) 患者および家族へのインフォームド・コンセントに同席する際は，患者や家族の心情を配慮し，メモや質問は控える

3. 症例プレゼンテーション

- 1) 担当患者の診療内容を，プロブレム指向形式で朝夕のカンファレンスでプレゼンテーションする
- 2) 担当患者の2週間の診療経過（入院時サマリー，身体所見，担当機関中の臨床経過）をまとめる
- 3) 病態相関図を考察してまとめる

- 4) 医学文献を引用して、症例から学んだ問題点・今後の課題を考察する
- 5) PPT ファイルを用いて、総括で発表する

4. ALS（二次救命処置）実習

- 1) 診断学入門プログラムで配布した資料（特に BLS）を事前学習しておく
- 2) 初日に ALS デモビデオ（救急集中治療医学研究室）を見て学習する
- 3) BLS 復習, Primary ABCD survey, バッグバルブマスク換気法およびモニター付除細動器の使用方法をシミュレーション実習する
- 4) 最終日に ALS の技能評価試験を行う

5. レポート

1) 内容：

- ① 担当症例の身体診察所見シート（1 日 1 枚）
- ② 症例プレゼンテーション（PPT 形式）
- ③ 見学し、内容を勉強した救急手技・薬剤のまとめ（ワードファイル）
- ④ 救急車同乗症例記録

2) 提出期限；第 2 週目金曜日総括時

【指導教員】

志馬 伸朗	教授（医系科学研究科 救急集中治療医学）
廣橋 伸之	教授（原医研 放射線災害医療研究センター）
大下 慎一郎	准教授（医系科学研究科 救急集中治療医学）
津村 龍	診療准教授（講師）（病院 高度救命救急センター）
細川 康二	診療准教授（講師）（病院 集中治療部）
太田 浩平	診療講師（助教）（医系科学研究科 救急集中治療医学）
木田 佳子	診療講師（助教）（医系科学研究科 救急集中治療医学）
緒方 嘉隆	助教（病院 集中治療部）
田邊 優子	助教（病院 高度救命救急センター）
山賀 聡之	助教（病院 高度救命救急センター）
板井 純治	助教（病院 集中治療部）
鈴木 慶	助教（病院 高度救命救急センター）
村尾 正樹	特任助教（緊急被ばく医療推進センター）
稲川 嵩紘	特任助教（緊急被ばく医療推進センター）
京 道人	助教（病院 高度救命救急センター）

【評価の方法と基準】

評価項目	配点
指導医による行動内容の評価	35
担当症例の診察記録	20
臨床レポート(手技、薬剤等)	20
救急車同乗症例記録と報告	20
ALS の技能評価試験	20
症例プレゼンテーション	30
ミニテスト	5

それぞれの実習毎に担当教官が"知識"および"実習態度"について評価する。
総合計点が 90 点未満(100 点満点換算で 60 点未満)は不合格とする。

【医局連絡先】

研究室直通 TEL: 082-257-5456 (平日 9:00～17:00)

(※時間外の緊急連絡は下記にメール連絡すること)

事務 E-mail: etakeno@hiroshima-u.ac.jp

准教授 E-mail: ohshimos@hiroshima-u.ac.jp

教授 E-mail: nshime@hiroshima-u.ac.jp